

日本新薬レポート 2025

INTEGRATED REPORT 2025

 日本新薬株式会社

新しい
生きるを、
創る。

ネットワーク (2025年7月1日現在)

■ 主要拠点

東京支社  支店 札幌、東北、関越、東京、千葉埼玉、横浜、名古屋、関西、京滋北陸、中四国、九州
創業研究所、東部創業研究所、食品科学研究所、山科植物資料館、小田原総合製剤工場、東部流通センター、西部流通センター

■ 国内グループ会社

シオエ製薬株式会社、タジマ食品工業株式会社、日本新薬アドバンス株式会社

■ 海外拠点・海外グループ会社

London Office、NS Pharma, Inc.、北京艾努愛世医薬科技有限公司、天津艾努愛世医薬有限公司



人々の健康と 豊かな生活創りに 貢献する



2035年の「ありたい姿」

京都のグローバル
ヘルスケアカンパニーとして、
一人ひとりの
新しい生きるを
世界に届ける会社

Kyoto

CONTENTS 目次

日本新薬とは	
02	At a Glance 数字で見る日本新薬／事業概況
06	社長メッセージ
12	グローバル展開の拡大
14	日本新薬の原点
16	日本新薬の歩み
18	日本新薬の強み
価値創出ストーリー	
20	価値創出プロセス
22	リスクと機会・マテリアリティ
24	経営資本
25	マテリアリティと企業価値の関係性
26	中期経営計画の歩み
価値創出への取り組み	
30	財務・資本戦略
34	財務・非財務ハイライト

36	イノベーションの創出による健康未来の実現
50	多様な人財の育成と 社員のウェルビーイングの実現に向けて
54	DXの推進に向けて
56	社会課題の解決とコミュニティとの共生
58	地球環境保護への取り組み強化
ガバナンス	
64	会長メッセージ
66	ガバナンスの強化
74	コンプライアンス・リスクマネジメント
76	社外取締役メッセージ
78	役員一覧
コーポレート・データ	
80	11カ年財務データ
82	非財務データ
84	ステークホルダー・エンゲージメント
85	会社概要・株式情報

◆ 編集方針

当レポートでは、あらゆるステークホルダーの皆さまに日本新薬グループの企業価値をご理解いただくため、財務情報に加え、環境、社会、ガバナンスなどの非財務情報を包括的に掲載しています。

◆ 参考にしたガイドライン

- ・ 国際会計基準(IFRS) 財団「国際統合報告フレームワーク」
- ・ GRI「サステナビリティ・レポート・スタンダード」
- ・ 経済産業省「価値協創ガイダンス」

◆ 将来見通しに関する記述について

当レポートには、将来に関する予測・予想・計画なども記載しています。これらは、記述した時点で入手できた情報に基づいた判断によるものであり、不確実性が含まれています。したがって、将来の事業活動の結果や将来に惹起する事象が当レポートに記載した予測・予想・計画とは異なったものとなる可能性があります。なお、当レポートには、医薬品(開発品を含む)に関する情報が含まれていますが、これらは宣伝広告や医学的アドバイスを目的とするものではありません。

* 記載の数値は、桁数未満を切り捨てたものになります。
このため、合計値が個々の数値の合計と一致しない場合があります。
* 当レポートに記載されている製品名は、当社または提携会社の登録商標です。
* 当レポートに記載されているコメント情報などは、適切に入手されたものです。

◆ 報告対象範囲

対象期間：2024年度(2024年4月1日～2025年3月31日)

* 一部、同期間以降の活動内容を含みます。

対象組織：日本新薬株式会社および国内外のグループ会社

* ただし、一部の報告事項は、日本新薬単体について報告しています。

◆ 関連情報

サステナビリティ/ESG情報

- Webサイト：サステナビリティ
- Human Capital Report
- コーポレートガバナンスに関する基本方針
- コーポレートガバナンスに関する報告書
- ESGデータ集
- GRIスタンダード対照表

株主・投資家向け情報

- Webサイト：株主・投資家の皆さま
- 有価証券報告書*
- 決算短信*
- 経営方針・経営計画(中期経営計画)
- 株主通信

* 法定開示・適時開示書類・開示資料はすべて、当社のWebサイトにてご覧いただけます。